



第11号では、中学生の活躍についてお伝えします。

## 「科学の甲子園ジュニア全国大会出場決定」

8月19日(火)に行われた科学の甲子園ジュニア鳥取県大会に、本校からは3チームが出場しました。この大会は、理科や数学、情報といった学問領域が、好き・得意な県内の中学生(1チーム3名)が集い、筆記競技および実技競技の総合力で腕比べをします。本校の3チームは、それぞれ筆記競技、実技競技において好成績を収め、そのうち1チームが総合第2位となり全国大会への切符を手にしました。

本校はこれまでにも全国大会へ複数回出場しており、令和5年度の大会では、全国第8位に輝いています。

12月12日(金)から14日(日)までの3日間、兵庫県姫路市で行われる科学の甲子園ジュニア全国大会へは、鳥取大学附属中学校の3名との合同で鳥取県代表チームとして参加します。全国の大舞台で持てる力を十分に発揮してきます。応援よろしくお願ひします。



## 「SSH課題研究中間報告会」

8月29日(金)、校内10教室を使用し、課題研究の中間報告会を行いました。中学2年生から高校2年生までの48グループがそれぞれのテーマで探究に取り組み、特色ある研究内容が発表されました。

研究の深さや進捗状況はグループ間で差はあるものの、生徒どうしてお互いの発表を見ることで、自分たちに足りなかった点や新しい視点を得る機会とることができました。質疑やアドバイスカードにより、最終報告会に向けてとても参考になったようです。生徒たちによる校内投票により上位に入ったテーマは以下の通りです。



「魚の視覚」「有害鳥獣がもたらす被害対策」「吃音症の可視化」

「観光を通して地域の活性化」「土壤pH操作とアレロパシー効果による雑草の除去」

「鳥取県の真砂砂鉄と刀鍛冶の技術で『伯耆たらら』を復元」

本発表は令和8年2月21日(土)にエースパック未来中心にて開催いたします。生徒たちの研究の集大成を多くの方にご参観いただけたら幸いです。